



プロジェクト名称

## すみだの'巣'づくりプロジェクト

プロジェクト活動概要

東京都墨田区で、総合的なまちづくり、という意味をもつ「防災もまちづくり」の実現のために、防災という共通課題をきっかけに専門家やNPO、行政、地域住民、企業などが学生を介してつなぎ、最終的に「学生が広げた輪（ネットワーク）から地域が繋がり続ける」ことを目標に掲げ、活動を行っている。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① Twitter、Instagram の投稿をそれぞれ 40 個
  - ② 防災遠足の参加者数において、子供 30 人、おとな 50 人
  - ③ YouTube の動画投稿を 6 本
- 
- ① Twitter の投稿は 9 個、Instagram での投稿は 11 個であった。
  - ② 昨年 9 月に行われた防災遠足においては子供 16 人、大人 52 人の計 68 人の方の参加があった。子供の人数は目標に届かなかったが、70 人近くの方が参加していただき、イベントとしては成功を納めた。
  - ③ 2022 年度は「防災遠足の紹介」、「まちあるきの紹介」、「墨田区のいいところ」の 3 つの shorts 動画を投稿した。



画像 1 「防災遠足の紹介」動画

SDGs への取り組み

《SDGs との関連項目》



4、11については、防災遠足を通して、地域の子供たちが防災を学べる機会を設け、防災に触れてもらうことで、防災教育をすることができた。また、子供たちにまちの問題を身近に感じてもらい、これから、「どうまちづくりをしていけばいいのか考える機会を設けることができた。

12については、毎週の会議において議事録を作成した際もデータで保存した。また、事前資料も紙ではなくあらかじめ資料をデータで配布することで会議のペーパーレス化を行った。

9、13については、前期のみずともプロジェクトにおいて、水害について調べその予防策や、日ごろからできるアプローチについて話し合い、案を出した。

## 活動状況報告&活動写真

活動期間：2023年3月1日～2023年5月21日

### ○まちあるき(4月22日開催)

毎年開催している防災遠足を計画するにおいて、かかせないのが現地調査である「まちあるき」。昨年度は3年振りの対面開催となり、70人近くの方が参加してくださり、成功を納めたと同時に反省点が多く見つかった。その反省点を踏まえて今年度の防災遠足をさらに良いものにするために、どのように改善すべきかを、話し合いながらまちあるきを行った。道幅が狭い道路にて発生するリスクをどう回避するかが課題となった。



画像2 まちあるきの様子(路地尊前)

### ○ 新入生歓迎まちあるき(5月21日開催)

4月に加入した1年生と2年生を含め、まちあるきを開催した。1年生から4年生までを混合した3つのグループに分け、防災遠足のルートを歩き墨田区のまちの良さを知ってもらう機会を設けた。去年から区が指定する避難場所に一部変更があったため、新入生には事前課題として、防災遠足に参加してくだ



さる方たちがどこの避難場所に逃げる必要があるのか、また新しく避難場所として追加された場所はどのような避難方法ととれば良いか、などを調査してもらい、まちあるきを意義あるものにする事ができました。



画像3 新入生歓迎まちあるきの様子

#### ○防災観光ふるしき

NPO 法人 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊とすみだの'巣'づくりプロジェクトが 2015 年から共同で製作した防災観光ふるしきが、高校生の政治・経済の教科書にて掲載された。

#### 成果まとめ、今後の活動計画など

##### 【成果まとめ】

今回の活動では、まちあるきを中心とした活動となった。現在新しい企画を計画中であるので、現地調査という狙いでまちあるきを行った。新入生が加入し人数が増えたため、全員で歩くのではなく、班別制にし、防災遠足と同じ状況を作った。まちあるきでは、昨年の反省を踏まえて防災遠足の変更点を模索している。全員で年度の初めから現地で活動できるのは、今まではできなかったことのため、とても良いスタートをきることができたと考えている。

##### 【今後の活動計画】

2023年度は、「コミュニティやネットワークを広げ、深いつながりを作る」というテーマを掲げて活動を行う。いよいよ新型コロナウイルスの感染拡大による活動制限が緩和され始めている。昨年度までは活動制限もあり、延期、中止となったイベントが少なくなかった。防災をメインに活動する団体としては、地域の方々のご協力は必要不可欠である。そのためには、様々な活動を通して、地域の方と交流

2022年度

# 学生プロジェクト活動状況報告書 5月号



を持つことが大事だと考える。それは、積極的にボランティア活動に参加したり、自分たちで新たな企画、イベントをたて、地域の方に参加していただいたりすることである。2023年度の活動計画としては、月に一回のまちあるきを行う。まちあるきをして現地調査を行い、新しい企画を提案する。長期的な企画にしていくため、下級生を主体にして進めていく。また、昨年からボランティアを通して交流のある方とボランティア活動だけに留まらず、共同で新しいプロジェクトをすることも計画中である。このように、2023年度はネットワークを広げ、新プロジェクトを企画し、新しいすみだの'巣'づくりプロジェクトを作っていく。